



現状と課題

- ◆基礎的な語彙量の不足により、国語科から他教科に至るまで、読解や自己表現が十分にできていない
- ◆主述の関係、文章や段落の構成、組み合わせられた動詞、修飾語、複合語などが読み解けない
- ◆自分の考えや論理を、相手に分かりやすく筋道立てて説明したり、文章で表現したりすることが苦手である



達成目標

- ◆国語や文章全般に関する関心・意欲を高め、自主的な学びを促す。
- ◆教科書水準の文章（物語文・説明文・詩）を十分に読み解ける語彙量と読解力を育成する。
- ◆自分の考えや意見を的確にまとめると共に、相手の立場や意見を理解して伝え合う力を高め、思考力・想像力・言語感覚を養う。



取組の重点

- 1 読書の時間や文章作成の機会を定期的に設けることで、語彙量の増加と表現力の育成に努める。
- 2 教科書の内容をもとに、形容詞・副詞・文章構成・感情表現などを確認するミニプリント等を活用し、全校での国語力向上を行う。
- 3 国語辞典の活用や表現力向上のための掲示物など、日常的に自主的な学びの機会が保証されるよう、校内の環境を整える。
- 4 授業の前半では、見通しを持たせ（意欲の向上）、自力解決をさせて（読解力の向上）、思考をノートにまとめさせる（言語力の向上）。
- 5 授業の後半では、互いの意見を交換させ（学び合い）、学習を振り返らせて（理解や思考の深まりの確認）、充実感につなげる。



学習の流れ

1 課題把握⇒焦点化

- ◇前時の振り返り
- ◇学習内容の確認
- ◇音読（範読・一人読み）
- ◇学習課題の把握

2 自力解決⇒個別化

- ◇見通しを持つ
- ◇自分の読みの深化
- ◇読み取った内容の整理
- ◇発表の準備

3 少人数学習⇒共有化

- ◇考えを整理した発表
- ◇友達の考え方の理解
- ◇相互の学び合い
- ◇自分の考えの再構築

4 全体学習⇒共有化

- ◇多様な考え方の理解
- ◇比較、類推、考察
- ◇相互の深め合い
- ◇集団での課題解決

5 まとめ⇒定着化

- ◇学習の振り返り
- ◇自分の言葉でのまとめ
- ◇まとめと確かめの音読
- ◇自己評価・相互評価

学習環境の整備

- 国語コーナーや、詩や作文などの校内の掲示物の工夫と充実
- ICTの効果的・積極的な活用
- 教材教具の工夫改善
- 朝自習や朝読書、チャレンジタイムの取組の工夫

言語活動の充実

- 問題の読み取り活動の充実
- 思いや考えを書いて表現する活動の充実
- コミュニケーションの時間の確保と、話す・聞く視点の明確化
- 学習の流れがわかるノート指導

他教科等との関連

- 他教科や日常生活で、国語の学びが生きていることの実感
- 読む、書く、聞く、話すなど、他教科等での取組の充実
- 互いのよさを認め合う道徳や特別活動との効果的な連携

家庭学習の定着

- 予習や復習など、発達段階に応じた家庭学習の習慣化
- 主体的に取り組む宿題の提示と見届け・確認
- 自主的・発展的な取組の充実
- 保護者の理解と協力